

氏名	濱口豊太	部署	作業療法学科	職名	教授
研究分野	リハビリテーション学, 心身医学				
学位	博士 (医学)				
学歴	東北大学大学院医学系研究科医科学専攻行動医学分野				
経歴	帝京大学医学部附属市原病院 国際医療福祉大学 新潟医療福祉大学				
所属学会 (役職)	日本行動医学会 (評議員) 日本作業療法研究学会 (副会長) 日本リハビリテーション学校協会 (理事)				

【2022年度実績】

1. 研究業績							
(1) 著作							
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月	
1	日常生活活動・社会生活行為学 第2版	共著	あり	医学書院, 310頁	金村尚彦, 濱口豊太 (担当:編者)	2022年12月	
(2) 論文							
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	Recovery of Patients With Upper Limb Paralysis Due to Stroke Who Underwent Intervention Using Low-Frequency Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation Combined With Occupational Therapy: A Retrospective Cohort Study	共著	あり	○	Neuromodulation: Technology at the Neural Interface, 26(2) 1-17	Toyohiro Hamaguhi , Masahiro Abo	2023年3月
2	Cravings for alcohol in alcohol use disorders are associated with attention deviation to alcohol: An observational study of Japanese in-patients	共著	あり	○	Medicine, 102(10) 1-7	Amano Yoshifumi, Koizumi Kouhei, Takizawa Hirokazu, Hamaguchi Toyohiro	2023年3月
3	Upper Limb Function Recovery by Combined Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation and Occupational Therapy in Patients with Chronic Stroke According to Paralysis Severity	共著	あり	○	Brain Sciences, 13(284) 1-19	Daigo Sakamoto, Toyohiro Hamaguchi , Kai Murata, Hiroshi Ito, Yasuhide Nakayama, Masahiro Abo	2023年2月
4	Study Protocol for a Multicenter, Randomized Controlled Trial to Improve Upper Extremity Hemiparesis in Chronic Stroke Patients by One-to-One Training (NEURO®) with Repetitive Transcranial Magnetic Stimulation	共著	あり	○	Journal of Clinical Medicine 11(22) 6835-6850	Daigo Sakamoto, Toyohiro Hamaguchi , Kai Murata, Atsushi Ishikawa, Yasuhide Nakayama, Masahiro Abo	2022年11月
5	A Method of Generating a Classifier that Determines the Presence or Absence of IBS Symptoms by Supervised Learning from the Frequency Analysis of Electroencephalogram Data	共著	あり	○	Frontiers in Bioscience-Landmark 27(6) 187-192	Kohei Koizumi, Toyohiro Hamaguchi , Jun Tayama, Shin Fukudo	2022年6月
6	EEG Oscillations in Specific Frequency Bands Are Differently Coupled with Angular Joint Angle Kinematics during Rhythmic Passive Elbow Movement	共著	あり	○	Brain Sciences 12(5) 647	Takako Suzuki, Makoto Suzuki, Kilchoon Cho, Naoki Iso, Takuhiro Okabe, Toyohiro Hamaguchi , Junichi Yamamoto, Naohiko Kanemura	2022年5月14日

7	上肢麻痺の重症度に合わせた作業療法	共著	あり	○	Monthly Book Medical Rehabilitation 282 43-52	濱口豊太	2022年12 月
8	日常生活における麻痺手の使用頻度を推定 する予測式の構築 脳卒中患者の目標設定 の際に使用する参考値を得るために	共著	あり	○	日本スティミュレー ションセラピー学会 会誌 3(1) 34-41	大熊 諒, 田中 智子, 越前 春希, 濱口 豊太, 安保 雅博	2022年4月

(3) 学会発表

	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	The effects of physical activity on gastrointestinal symptoms of IBS among younger people	単独	The 19th Congress of the Asian College of Psychosomatic Medicine	○Toyohiro Hamaguchi	2022年8月
2	新型コロナウイルス感染症の拡大により、 外来診療が中断された慢性期脳卒中患者の 上肢運動麻痺の変化	単独	日本リハビリテーション医 学会	○坂本 大悟, 濱口 豊太, 中山 恭秀, 羽田 拓 也, 安保 雅博	2022年5月

(4) その他

	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし				

2. 競争的資金等の研究

	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 (C))	ニューラルフィードバックによる 脳腸相関異常を制御する装置開発 とその練習効果の検証	研究代表者	2022.4~2025.3
2	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 (C))	消化管知覚過敏を軽減させる ニューラルフィードバック練習装 置の開発	研究代表者	2019.4~2024.3
3	日本学術振興会科学研究費助成事業 国際 共同研究加速基金(国際共同研究強化(B))	IBS症状のセルフケアための eHealthシステム構築及びその効果 についての研究	研究分担者	2019.12~2023.3
4	文部科学省 科学研究費補助金基盤研究(B)	滑らかな行動を獲得する新しい介 入戦略：神経活動の同期化と行動 学習	研究分担者	2018.4~2023.3
5	文部科学省 科学研究費補助金(挑戦的研究 (萌芽))	相反性抑制機能を向上する新しい 介入：電磁気刺激とフィードバッ クの統合効果	研究分担者	2018.4~2023.3
6	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 (C))	最適運動軌道と脳活動：目標の明 示化による練習効果	研究分担者	2020.4~2024.3
7	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 (C))	手指運動画像から筋緊張と麻痺の 重症度を推定するアプリケーショ ンの開発	研究分担者	2021.4~2024.3
8	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究 (C))	下痢型IBSを対象とした暴露療法： 消化管症状に対する不安条件付け の消去	研究分担者	2018.4~2023.3

9	文部科学省 科学研究費補助金(基盤研究(C))	手指に痛みない美容師の鉋の使い方 方を学習して手指の障害を予防する 鉋練習装置の開発	研究分担者	2019.4~2023.3
3. 教育業績				
(1) 講義				
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	リハビリテーション基盤実践学特論	○	15	リハビリテーションの基礎研究から実証研究までの階層化された研究論文を紹介し、研究知見の社会実装に至る手続きを解説した。
2	行動神経作業療法学特論	○	15	脳卒中片麻痺上肢のニューロモデュレーションを促す運動療法、作業療法、経頭蓋磁気刺激法について最新の研究成果を解説した。
3	心身機能作業療法論	○	15	脳波周波数解析による消化器心身症の特徴量を分類して解析する機械学習方法について解説した。
4	機能支援系作業療法論	○	15	上肢運動療法技能を練習または技能測定するアームロボットの開発とその成果について解説した。
(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	総合作業療法演習	○	30	国家試験問題を難易水準とした作業療法の臨床知について講義した。
2	リハビリテーション学演習(行動神経作業療法学)	○	30	臨床で行われる脳卒中片麻痺上肢のニューロモデュレーションを促す経頭蓋磁気刺激実験と、作業療法計画立案を指導した。
3	心身機能作業療法演習	○	30	受講生には注意バイアス修正法と、認知行動療法、脳波Decoded Neuro Feedbackの練習方法の実験計画を立案させた。
4	機能支援系作業療法演習	○	30	動力支援装置とVR装置によるリハビリテーションの実験を指導した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習:期間 学内実習:コマ数	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
1	IPW実習		2022.8~10	1チームの指導
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2022.4~2023.3	主指導 3名	副指導 2名
2	修士論文	2022.4~2023.3	主指導(指導教員) 2名	副指導(指導補助教員) 1名
3	博士論文	2022.4~2023.3	主指導(指導教員) 5名	副指導(指導補助教員) 3名
(5) その他				
	名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称	任期	
1	蕨市	介護保健運営協議会・会長	2020.4~	
2	蕨市	高齢者福祉計画等策定懇談会・会長	2020.4~	
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究開発センター(センター長)		2020.4~
2	全学的委員会及びセンター業務等	研究推進委員会(委員長)		2020.4~

6. 受賞（研究、教育、社会貢献活動に関するもの）			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
1	該当なし		